

名古屋市の将来計画

名古屋市基本構想

本市は、昭和52年12月、21世紀を展望した「名古屋市基本構想」を市議会の議決を経て定めました。基本構想は、「まちづくりの基本理念」、「望ましい都市の姿」、「名古屋の役割」、「施策の大綱」、「市政運営の基本姿勢」を示しており、それ以後の市政運営の指導理念となっています。

まちづくりの基本理念

- 1 市民自治の確立
- 2 人間性の尊重
- 3 特性と伝統の活用

望ましい都市の姿

- 1 安全で快適なまち
- 2 文化の香り高いまち
- 3 豊かで活気のあるまち
- 4 心のふれあいとつながりのあるまち

名古屋の役割

- 1 名古屋大都市圏の中枢都市
- 2 太平洋岸の代表的都市
- 3 国際的にひらかれた都市

名古屋新世紀計画2010

この基本構想の着実な実現をはかるため、昭和55年1月には名古屋市基本計画を、また、昭和63年8月には名古屋市新基本計画を策定し、長期的見通しのもとに総合的かつ計画的な市政運営をすすめてきました。

そして、少子・高齢化の急速な進行など時代の転換期を迎え、本市を取り巻く情勢も大きく変化し、新しい時代に対応した21世紀初頭のまちづくりの指針が必要となったため、基本構想に基づく第3次の長期総合計画として、平成12年9月に名古屋新世紀計画2010を策定しました。

名古屋新世紀計画2010は、西暦2010年度（平成22年度）を目標年次とし、生活、環境、文化、産業のすべてにわたって調和のとれた「誇りと愛着の持てるまち・名古屋」の実現をめざしています。

名古屋新世紀計画2010 第1次実施計画

「名古屋新世紀計画2010 第1次実施計画」は、名古屋新世紀計画2010に基づく最初の実施計画であり、計画期間は平成12年度から15年度までの4か年（平成12年度は事業の実績のみを掲載）となっています。

この計画は、「総論」、「部門別計画」および「地域別計画」の3部で構成しています。計画に掲載した事業は、686事業（新規事業93事業を含む）で、この計画に必要な事業費は、合計約1兆4,597億円です。

総 論

名古屋新世紀計画2010 に掲げた5つの視点（生活者の視点に立ったまちづくり、市民・企業・行政のパートナーシップによるまちづくり、ソフトを生かしたまちづくり、活気と交流のまちづくり、広域的な視点に立ったまちづくり）を重視しながら、名古屋新世紀計画2010 の適正な進行管理を行うとともに実行性を確保し、施策・事業の効率的かつ効果的で着実な推進をはかります。

総論のうち「『2010 年・名古屋がめざす8つの都市像』の実現に向けて」では、名古屋新世紀計画2010 に掲げた「2010 年・名古屋がめざす8つの都市像」を実現するための取り組みを示しています。

部門別計画

名古屋新世紀計画2010 の体系に沿った22 部門で構成しています。

地域別計画

部門別計画に登載された施策・事業を16 区の行政区別にとりまとめたものと、区の魅力づくりで構成しています。

● 総合計画の体系

